

討 論

今定例会では、条例改正4件、補正予算1件に対し9人の議員が賛否の討論を行いました。なお、討論要旨並びに議員提出議案第13号の概要は次のとおりです。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

賛成 日本共産党 本田 哲議員

反対 乳幼児の医療費負担軽減措置の拡大は、大いに歓迎しますが、高齢者の窓口負担を1割から2割に引き上げることが賛同できません。

この間、定率減税の廃止、高齢者控除の廃止、住民税増税など、連続する負担増が高齢者を苦しめています。

高齢者の命を脅かし、くらしを破壊する悪法に、関連する条例改定には、強く反対します。もっと市民要求にこたえるべきであり、反対するものです。

賛成 公明党 鈴木 麗子議員

今回の改正には、就学時までの子どもの医療費負担を引き下げる点も含んでおり、医療費全体を見渡した態度こそ、制度の持続性を高めるもので

です。

本市の18年度国保事業費では、その23%を前期高齢者の医療費が占めており、高齢世代内の公平性、制度の持続可能性の確保、財源の健全化の観点から必要な改正であり、やむを得ないものと考え、賛成します。

医療保健センター使用料、手数料条例の一部を改正する条例

賛成 日本共産党 本田 哲議員

改正理由で、センター運営の健全化を挙げ、約42万円の歳入増を見込んでいますが、それほどセンター運営は行き詰っているのでしょうか。「受益者負担徹底」の考えに立つ改正と言わざるを得ません。

安価で診断書等を提供できることは、地域に根ざした公的医療機関としての重要な役割です。市民の生活が困窮しているときに、使用料等の大幅

な改正は認めることはできません。

奨学資金条例の一部を改正する条例

賛成 日本共産党 花井 伸子議員

半額返済を全額返済に改正する内容であり、貧困と格差が一層拡大している社会情勢から、今こそ本市の先駆的役割を果たしてきた奨学金制度の真価が問われるときです。制度の目的に沿い、半額返済を続けられることを願い、反対するものです。

賛成 公明党 三浦 芳一議員

奨学生及び連帯保証人の資格要件の緩和、併せて財源確保の観点から、全額返済にするものではなく、公費投入分がなくなる場合には、奨学金予算の増額は、当然の帰結であると考えます。

将来的に持続可能な制度とするために、今回の改正は必要なものであると判断し、賛成するものです。

平成19年度一般会計補正予算(第3号)

議員提出議案第13号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

提案説明の概要 日本共産党 望月久晴 議員

本案は、平成18年12月議会で可決した国保税条例の改正条例第2条を削除し、国保税改定を中止させるものです。20年度の値上げが実施されれば、年所得百万円の2人世帯で約2万3千円の増税となり、こうした大きな負担増に国保加入世帯は耐えられなくなっています。

国保は社会保障制度であり、加入世帯の生活を圧迫するようなことはあってはなりません。さらに、来年度から後期高齢者医療保険制度が始まり、新たな負担が高齢者に押し付けられます。こうした諸般の状況を鑑み、本案を提案するものです。

反対 日本共産党 望月 久晴議員

本案は、5億円を都市開発基金に積み立てるものです。福祉・教育・市民生活分野の予算を削減してまで、都市整備資金を確保する必要性はありません。19年度一般会計は、このまま推移すると、予算比で約30億円の歳入超過、15億前後の剰余金が発生します。これだけの余裕財源があるならば、もっと市民要求にこたえるべきであり、反対するものです。

賛成 平成会 菅原 文仁議員

都市開発基金積立金は、①継続性があり機能している基金であること。②適正な比率で推移し、福祉・市民サービスとのバランスがとれていること。③社会基盤整備が今後必要であること。以上3点からも必要です。さらに、住みやすいまちづくりの推進、計画的な都市開発と財政運営は、市民の福祉向上にこたえるものであり、本案に賛成するものです。

反対

平成会 平野 進 議員

本市国保の財政運営は、歳入不足を補うため、毎年一般会計から11億円余の法定外繰入金に依存し、大変厳しい状況にあります。

条例提案は、議会の使命からも否定はしませんが、この内容は18

賛成

日本共産党 岡崎 郁子 議員

賛成理由は、①市民生活最優先の姿勢を実現する提案であること、②社会保障のセーフティネットを強化する案であること、③財政状況を鑑み、値上げを行わずとも、十分にやっつけられるとい

うことです。

来年度の国保税値上げを知った人からは、驚きと怒りの声が寄せられています。市民の声を受けとめ、一度可決したもので、勇気をもって正すべきは正す、これが市民の最も身近で活動している議会の責務ではないでしょうか。

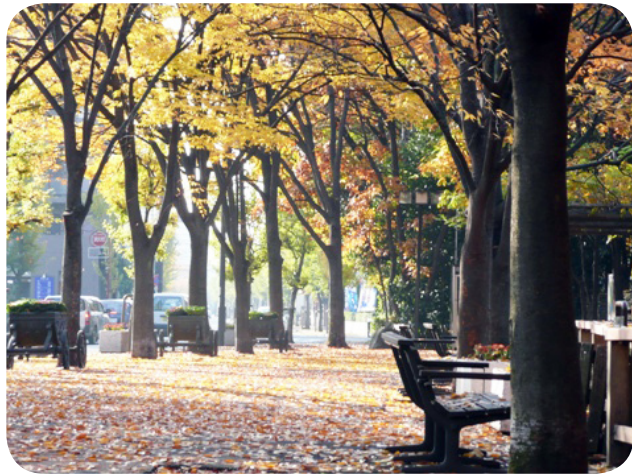
とだがききたい

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では12月4日から3日間、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲木漏れ日ふりそそぐ初冬の朝（後谷公園脇歩道）



一般質問の見出しのリニューアルについて

※前号から、質問見出しの次に「〇〇」として、答弁の見出しを掲載しました。

とだがききたい



▲平成19年10月オープンフラワーセンター戸田

⑤平成20年度から本格的な障がい者・高齢者雇用を計画している。
⑥花の生産、生ごみ堆肥の土づくり等に小中学生へ生きた環境教育の場として広く受け

議員 ①華かいどう21への花苗提供。②花ロード美女木への花苗提供。③生ごみリサイクルによる資源化・減量化。④花のまちづくりでコミュニティの充実。⑤障がい者・高齢者の雇用促進。⑥ボランティア育成等の環境教育の促進。各目的の具現化に向け、どのように進めていくかを伺う。

市民生活部長 ①道路残地への植栽、緑のボランティア等の団体、公共施設等への配付を計画する。②国土交通省からの供給不足分を補充する。③市民等に専用バケツの貸し出し、搬入時に花苗との交換、資源化・減量化を推進する。④環境・地域ボランティアの活動施設として考えている。

フラワーセンター戸田の今後は

平野 進 議員

の今後は

入れ、ボランティア育成の促進を考えている。

危険な交差点対策は

議員 ①市内の危険な交差点の実態把握と事故防止対策は。②安心まちづくり課発信の「市内犯罪発生状況」ニュースに同時掲載はできないか。

市民生活部長 ①平成18年中の人身事故件数が多い交差点は、美女木八幡で13件、新留「メゾンエメラルド」前で6件。対策として、美女木八幡では、案内標識、路面標示、ポールなどの検討がなされ、今年度中に施工予定。メゾンエメラルド前は、一灯式信号機、道路の色分け、自発光鎮など対策済みである。②防犯ボランティアアリアーダーカレッジ卒業生、約80名に毎月送付している。防犯活動とともに、交通事故抑止に活用できるよう、交通事故情報を盛り込んだ資料づくりを検討する。